



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月10日

上場会社名 シリコンスタジオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3907 URL <https://www.siliconstudio.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶谷 眞一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼コーポレートサービス (氏名) 竹中 康晴 (TEL) 03(5488)7070
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の連結業績(2023年12月1日~2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	3,209	△6.4	0	△100.0	△20	—	△81	—
2023年11月期第3四半期	3,429	6.1	238	△22.3	238	△27.4	158	7.1

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 △84百万円(—%) 2023年11月期第3四半期 160百万円(7.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	△28.91	—
2023年11月期第3四半期	54.76	—

(注) 2023年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については潜在株式が存在しないため記載しておりません。2024年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	2,766	1,569	56.7
2023年11月期	3,159	1,758	55.6

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 1,569百万円 2023年11月期 1,758百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想(2023年12月1日~2024年11月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,424	△2.9	148	△38.0	131	△46.9	85	△57.6	30.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年11月期3Q	2,973,900株	2023年11月期	2,973,900株
② 期末自己株式数	2024年11月期3Q	203,922株	2023年11月期	100,022株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年11月期3Q	2,831,876株	2023年11月期3Q	2,899,243株

(注) 株式給付信託(J-ESOP)の信託財産として株式会社日本カストディ銀行が保有する当社株式25,000株は、上記自己株式に含めておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、社会活動の正常化が進み、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、長期化するウクライナ情勢を背景とした原材料・エネルギー価格の高騰に伴う物価の上昇に加え、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社が強みを持つコンピューターグラフィックス（CG）関連ビジネスに注力し、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

開発推進・支援事業においては、主要顧客であるエンターテインメント業界からの開発支援の引き合いが足踏みしたものの、自動車業界や土木・建築業界を中心とした産業界においてもゲームエンジンを活用した仮想空間でのシミュレーション環境構築など、当社の可視化技術への引き合いが増えており、展示会への積極出展やホームページコンテンツの拡充など顧客基盤の拡大に向けた取り組みにも注力しております。

一方、子会社の不採算事業の縮小に伴い、一時的に減収となっておりますが、事業構造改革の効果により収益改善を見込んでおります。

人材事業においては、当社が強みとしているゲーム企業における急激な採用意欲の減退により、前期好調だった人材紹介事業が大幅に落ち込みましたが、採用に積極的な配信系エンターテインメント業界などへのアプローチ、既存顧客のサービス向上に取り組むことにより収益改善に注力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が3,209百万円（前年同期比6.4%減）、営業利益は0百万円（同100.0%減）、経常損失は20百万円（同258百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は81百万円（同240百万円減）となりました。

報告セグメントの状況は、以下のとおりであります。

(1) 開発推進・支援事業

当第3四半期連結累計期間における受託開発では、継続的なゲーム環境開発請負の減少、子会社の事業構造改革を通じた一時的な売上減が影響し、減収減益となりました。

ミドルウェアの売上高は、請負開発分が堅調に推移しており、増収となりました。

オンラインソリューションの売上高は、オンラインゲーム向けのサーバー関連が堅調に推移しており、増収となりました。

なお、今期よりサブセグメントの売上区分を一部見直し、従来受託開発としていた産業向けオンラインサービスをオンラインソリューションへ区分変更しています。

以上の結果、売上高は1,976百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は191百万円（同30.6%減）となりました。

(2) 人材事業

人材紹介は、市場環境の急激な悪化により、減収減益となりました。また、人材派遣は、課題を改善した結果、稼働数は前年同期に対し増加しました。

当第3四半期連結累計期間における派遣先企業で稼働した一般派遣労働者数は延べ1,750名（前年同期比3.3%増）、有料職業紹介の成約実績数は195名（前年同期比37.5%減）となりました。

以上の結果、売上高は1,233百万円（前年同期比8.8%減）、セグメント利益は198百万円（同39.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて393百万円減少（前連結会計年度末比12.5%減）し、2,766百万円となりました。

これは主に、前払費用の増加30百万円、仕掛品の増加27百万円等があったものの、現金及び預金の減少257百万円、売掛金及び契約資産の減少94百万円、投資その他の資産の減少88百万円等があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて205百万円減少（同14.6%減）し、1,196百万円となりました。

これは主に、賞与引当金の増加69百万円等があったものの、未払費用の減少140百万円、長期借入金の減少69百万円、未払金の減少46百万円等があったことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて188百万円減少（同10.7%減）し、1,569百万円となりました。

これは主に、自己株式の増加104百万円、利益剰余金の減少81百万円等があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比1.1ポイント増加し、56.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月期の連結業績予想につきましては、本日付で公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値から変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,509	1,251
売掛金及び契約資産	653	559
仕掛品	433	460
前払費用	66	96
その他	23	7
貸倒引当金	△0	△2
流動資産合計	2,684	2,373
固定資産		
有形固定資産	110	99
無形固定資産		
ソフトウェア	12	24
ソフトウェア仮勘定	—	6
その他	8	7
無形固定資産合計	20	38
投資その他の資産	343	255
固定資産合計	475	393
資産合計	3,159	2,766
負債の部		
流動負債		
買掛金	52	33
1年内返済予定の長期借入金	92	94
未払金	138	91
未払費用	214	73
契約負債	204	203
預り金	23	50
未払法人税等	12	0
未払消費税等	54	38
リース債務	0	0
賞与引当金	—	69
受注損失引当金	231	231
その他	1	1
流動負債合計	1,025	890
固定負債		
長期借入金	344	274
資産除去債務	26	26
退職給付に係る負債	4	4
リース債務	0	0
固定負債合計	376	306
負債合計	1,401	1,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	466	466
資本剰余金	2,097	2,097
利益剰余金	△537	△619
自己株式	△269	△373
株主資本合計	1,755	1,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	△0
その他の包括利益累計額合計	2	△0
純資産合計	1,758	1,569
負債純資産合計	3,159	2,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,429	3,209
売上原価	1,927	1,856
売上総利益	1,501	1,353
販売費及び一般管理費	1,263	1,352
営業利益	238	0
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	8
為替差益	—	1
その他	2	1
営業外収益合計	12	11
営業外費用		
支払利息	3	3
資金調達費用	2	2
雇用支援納付金	1	2
持分法による投資損失	5	13
為替差損	0	—
その他	0	10
営業外費用合計	12	32
経常利益又は経常損失(△)	238	△20
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	238	△20
法人税、住民税及び事業税	16	2
法人税等調整額	62	58
法人税等合計	79	61
四半期純利益又は四半期純損失(△)	158	△81
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	158	△81

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	158	△81
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△2
その他の包括利益合計	1	△2
四半期包括利益	160	△84
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160	△84

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年7月17日開催の取締役会決議に基づき、自己株式103,900株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が104百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が373百万円となっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	34百万円	38百万円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	開発推進・支援	人材	合計
売上高			
一時点で移転される財	664	431	1,096
一定の期間にわたり移転される財	1,411	920	2,332
顧客との契約から生じる収益	2,076	1,352	3,429
外部顧客への売上高	2,076	1,352	3,429
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	9	9
計	2,076	1,362	3,438
セグメント利益	276	330	606

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	606
全社費用(注)	△368
棚卸資産の調整額等	0
四半期連結損益計算書の営業利益	238

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません

当第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	開発推進・支援	人材	合計
売上高			
一時点で移転される財	744	312	1,057
一定の期間にわたり移転される財	1,231	920	2,152
顧客との契約から生じる収益	1,976	1,233	3,209
外部顧客への売上高	1,976	1,233	3,209
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1	1
計	1,976	1,235	3,211
セグメント利益	191	198	390

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	390
全社費用(注)	△391
棚卸資産の調整額等	1
四半期連結損益計算書の営業利益	0

(注) 全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません